

ドリームプラン

二月十五日(木)に、一年生が「ドリームプラン発表会」を行いました。「将来の目標を設定することで、進路実現に向けて主体的に努力する生徒を育てる」とことと「自分の将来について考え、発表することを通して、生徒の職業観を育む」ことをねらいとした取組であり、一年間のキャリア学習の集大成となるものです。この日は一日入学でもあり、たくさんの方が来られました。全員がこれまでの学習の成果を堂々と発表することができました。

ドリームプラン発表会がありました。パワーポイントなどを使ってうまく発表できていたと思いました。原稿やパワーポイントの準備も大変だったけど発表当日はあまり間違えたりすることもなくうまくできたからよかったです。将来になりたい職業について詳しく知ることができたり、これからもっと勉強を頑張っていこうという気持ちになりました。みんな上手に発表できてよかったです。【生徒】

二月十五日にドリームプランの発表会がありました。調べ学習では本やパソコンを使って調べ、発表練習ではみんなが四分まで終わらせようと意識して発表していました。本番では、みんな上手に発表していたし、自分から積極的に質問や感想を言っていたのでいいと思います。今回の学習をもとに職業の夢を少しでも叶えられるように頑張っていきたいです。【生徒】

遠隔授業

三年生はキャリア学習の一環として宮崎県えびの市立飯野中学校と、島前高校の寮で遠隔交流を行いました。ズームスペースというプロジェクトを使用しているのは日本初の取組でした。実際に相手が目の前にいるような感じで、同じ教室で授業を行っているようでした。この取組は、来年度以降も継続して行っていきたいと思います。

初めてのことであったので少し緊張しましたが、飯野中学校のみなさんととても楽しく話すことができました。私たちの生活の中だけではありえないこととか、えびの市の良いところなどをたくさん知ることができたので、よかったです。すぐリアクションよく返事してくれたり、たくさん質問してくれました。本当に楽しく時間が経つのが早く感じました。一回だけでは足りなかったもので、このような機会があればいいなと思いました。【生徒】

遠隔交流を行う前には、どうなるのか予想できなくて少し不安でしたが、実際にやってみるととても楽しかったです。飯野中学校のことはもちろん、えびの市についても全く知らなかったのですが、今回の交流を通して知ることができて良かったです。【生徒】



ウォークラリー

一月三十一日(水)、保健体育委員会企画のウォークラリーが行われました。学校周辺の五つのポイントを回りながらクイズに答えるという企画でしたが、当日は天候にも恵まれ、生徒達は班で協力しながら元気に活動していました。【教員】

今回の活動は、他学年との交流を深めること、冬の体力向上を目的として計画しました。後期の保体委員会での特別活動でしたが、一年生から三年生まで楽しみながら交流することが出来たと思います。しかし、準備不足もたくさんあったので、この反省を次に生かしていきたいと思います。【生徒】

一日入学

二月十五日(木)に一日入学を行いました。保護者の方を対象にした学校説明の後、六年生、保護者とも全学年の授業を参観してもらいました。この後、後期生徒会役員によるアイスブレイクの後、六年生へのパワーポイントを使った学校説明、保護者の方には、海士町教育委員会の山下裕次氏、

銭谷郁氏、近藤朋子氏をファシリテーターとしてお招きし、親学研修会を実施しました。その後、部活動体験を行い、全日程を終了しました。来年度本校への入学予定の児童は、十三名、入学式は四月十日(火)の予定です。新入生の入学を心待ちにしております。【教員】

隠岐小中習字展

- 金賞 三年 一名
- 銀賞 一年 三名
- 三年 五名
- 銅賞 一年 一名
- 二年 二名
- 三年 三名

子育てを考える

鷲は断崖絶壁のようなところに巣を作ります。まず、外側に野バラなどのトゲのある枝を組み合わせ、その内側に木の葉などを敷き詰め、最後に自分の柔らかい羽毛をくちばしで抜いて敷きつめます。そして、ヒナがかえると、親鷲は一生懸命にエサを与え、大切に育てます。

しかし、ヒナが親鷲と同じ位までに成長し、独り立ちできるようにになると、敷き詰めてあった羽毛や木の葉を巣から全部取ってしまいます。

そして、トゲのある枝ばかりになると、ヒナは痛くて巣から飛び立とうとしますが、恐くて飛び立てません。だけど、巣の中にとげが刺さり、血が出てきます。どうすることもできなくなると、ヒナは覚悟を決めて大空に飛び立つのです。これが「巣立ち」です。

もし、親鷲がいつまでもエサを与え、柔らかい巣のままであつたら、そのヒナは一生、大空を飛ぶことを知らずに終わるかもしれません。【教員】